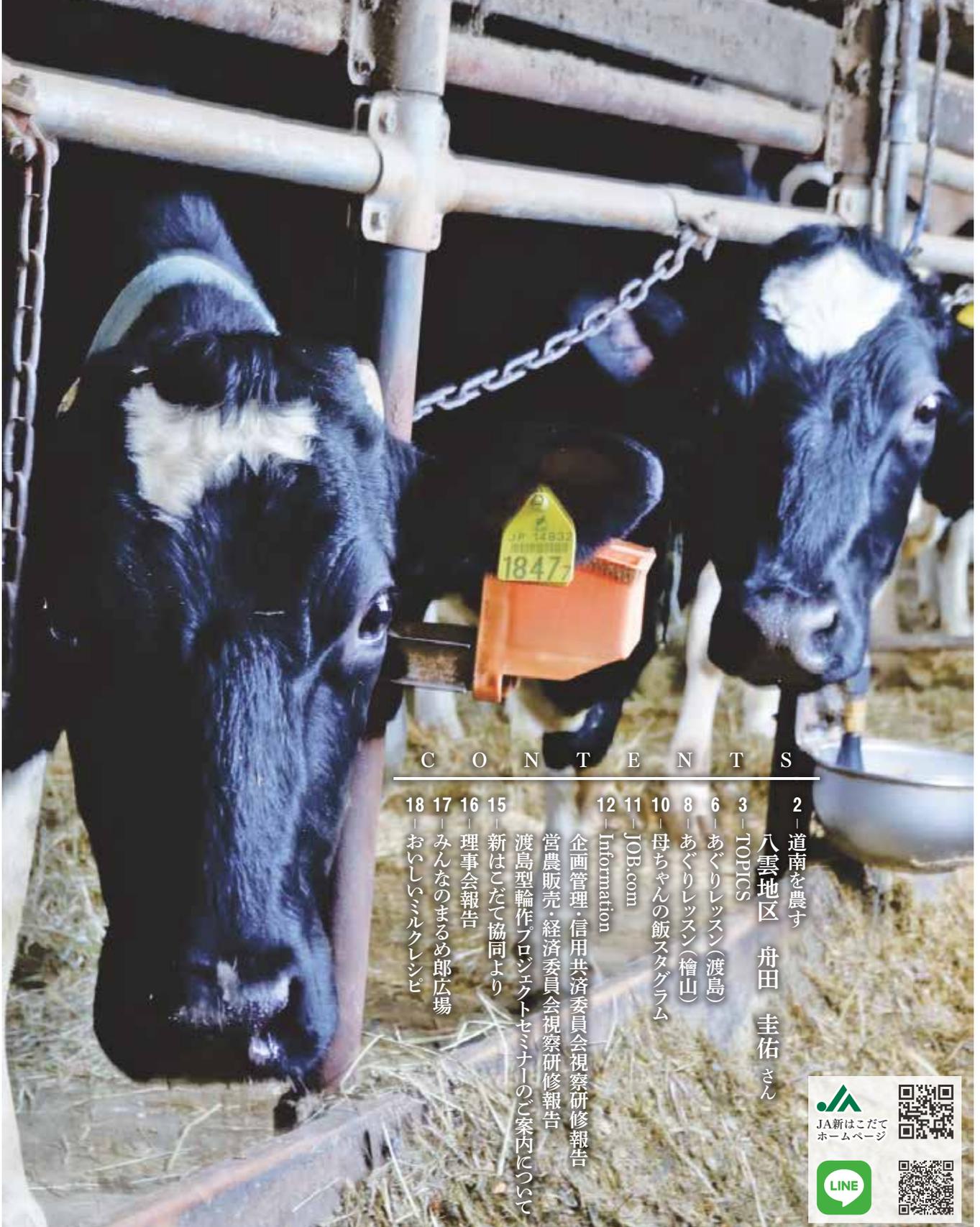


# 元す保わーる 新函館

JA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

2025年  
2月号  
No.270



## C O N T E N T S

- 2 道南を農す
- 八雲地区 舟田 圭佑さん
- 3 TOPICS
- 6 あぐりレッスン(渡島)
- 8 あぐりレッスン(檜山)
- 10 母ちゃんの飯스타그램
- 11 JOB.com
- 12 Information
- 企画管理・信用共済委員会視察研修報告
- 営農販売・経済委員会視察研修報告
- 渡島型輪作プロジェクトセミナーのご案内について
- 15 新はこだて協同より
- 16 理事会報告
- 17 みんなのまるめ郎広場
- 18 おいしいミルクレシピ



LINE@やホームページで、各種お知らせやイベント情報などを発信しています！ぜひ、ご覧ください！



吉川会長(左)から感謝状を受け取る加藤専務(右)

### 「優良出荷」で感謝状

〔生産販売〕

J A新はこだては11月下旬、優良出荷者として、大阪市から感謝状を受けた。大阪市の東部中央卸売場開設60周年を記念する贈呈。東果大阪(株)の吉川会長が北斗市を訪れ、同J Aの加藤専務に手渡した。J Aは長期にわたり同市場に長ネギやダイコンなど多品目の農作物を出荷し、市場の発展と市民の食生活の安定と向上に貢献してきた。感謝状は横山市長名。感謝状を受け取った同J A加藤専務は「生産者の努力の賜物であり、とても名誉なこと。引き続き期待に応えられるよう努めてまいります」と語った。



木の飾り作りに取り組む参加者

### J A道南女性協フレミズ研修会

〔女性部〕

J A道南地区女性協議会は11月下旬、檜山管内せたな町でJ Aフレッシュミズ研修会を開催し、フレミズ会員や関係者ら30人が参加した。ホクレン函館支所の菅野技師補らを講師に、農作業安全について現状や事故の事例などの講義を受けた。参加者は「研修を受けて終わりにせず、家に戻って農作業の現場でできることから取り組みたい」と気を引き締めた。グループワークでは檜山振興局林務課の職員が講師を務め、木の飾り作りを行った。身近な木を使った飾り作りを通じて、参加者同士の交流を深めた。



上ノ国高等学校にて寄贈された牛乳を飲む生徒ら

### J A新はこだて酪農畜産 高校生へ牛乳無償配布

〔酪農畜産〕

J A新はこだて酪農生産部会は11月下旬から12月上旬にかけて、渡島・檜山管内の高校23校を訪問し、牛乳パック200mlとアイスクリーム合わせて13200個を贈った。昨年、高校生を対象に実施した「牛乳消費に関するアンケート」で、牛乳離れが浮き彫りとなった。乳製品の無料配布はその対策で実施され本年も同時に「牛乳消費・購入と酪農に関するアンケート」を行った。部会の金子部会長は「育ち盛りの高校生に今回の企画を通じ改めて牛乳の美味しさや大切さを認識してもらおう機会となれば嬉しい。今後も牛乳の消費拡大へつなげる活動をしていきたい」と話した。



参加者に料理を試食してもらう生徒ら(右側)

### 大妻高校「創作料理発表会」

〔米穀畑作〕

函館市の大妻高等学校は12月3日「ふっくら創作料理発表会」を同校で開き、食物健康科の1年生29人が渡島農業改良普及センター、ホクレンやJ A新はこだての職員ら11人に自らが田植え、稲刈りを行った「ふっくらこ」を使い創作料理を振る舞った。米粒型に成型した餅状の「ふっくらこ」をレタスで包み、国産食材を使用した肉ごまみそを乗せてバーナーで炙った「ごまみそもち」が優勝。審査を行った同普及センターの須佐専門主任は「審査に困るほど、どの料理もとても美味しかった。自らの手でお米を育てた経験を今後活かしてほしい」と話した。



### 八雲地区 舟田 圭佑さん(33)

ふなた けいすけ

取扱品目:乳用牛約160頭/牧草58ha  
デントコーン22ha

## 『人とのつながりを大切に』

「就農した経緯についてお聞かせください。地元の八雲高校を卒業し道立農業大学校で2年間酪農について学び、20歳の時に親元就農しました。小さい頃から親の手伝いをしていて、将来は後を継ぐことを決めていました。大学時代には、実習やアルバイトを通じて酪農の面白さや可能性に感銘を受けました。」

「やりがいについてお聞かせください。牧場の課題を見つけて改善していくことがやりがいに感じています。自由度が高くやりたいことができるのも自営業のいいところだと思います。」

「また、道内各地にいる大学時代の友人や青年部員などの仲間とも情報共有を行い切磋琢磨しながら仕事ができているので周りの環境にはとても感謝しています。」

「今後の展望についてお聞かせください。今後とも作業の工夫により作業負担を減らすことも考えつつ、酪農へルパの活用などで休日や設ける体制を築いていきたいなと思います。その為にも個体乳量10000kg以上上げるための飼養管理、ゆくゆくは親牛の個体販売なども行っていきたいと考えています。人脈は財産なので大切にしていきたいです。日々工夫しながら楽しく経営していきたいです。」



餌を食べない牛がないかなど日々健康チェックを行っている舟田さん

12月26日、JAの一般職で構成される新函館農業協同組合職員組合と常勤役員が意見交換を行った。

今回の意見交換会では職員組合が実施する職員アンケートで出された意見・要望など職員が勤務する中で感じていることから、特に改善したいとの要望が強いものについて常勤役員に対して要請・意見交換を行うもので、労使間の意見交換により、より良い職場環境等の構築を目指すことを目的に例年この時期に開催されている。



意見を提案する職員(左上)

職員組合より朝礼やクミカン配送、職場の衛生環境や離職対策など職員アンケート結果に基づく意見・要請事項があげられ、より良い職場環境づくりに向け要請内容を精査し対応していくこととされた。

## 【職員組合】 職場環境の改善に向けて議論



林部会長(右)より鏡餅を受贈した横道組合長(左)

## 【八雲】 八雲町もち米生産部会より 鏡餅を受贈

12月26日、JA新はこだて八雲町もち米生産部会より同町産「風の子もち」で作った鏡餅が当JA本店へ寄贈された。

昨年の農作物の豊穰に感謝し、今年の豊作を願う想いを込めて寄贈した。

鏡餅は重さ5升。横道組合長が受け取り、本店事務所の玄関に飾られた。

「風の子もち」は部会の34戸が約280ヘクタールで作付けする。

林部会長は「猛暑の影響で稲の管理が年々難しく品質面での懸念もあったが、例年通り鏡餅を寄贈出来て良かった。餅離れが顕著なので、今後も消費拡大に努めたい」と話した。



おにぎりを楽しそうに握る児童ら

## 【せたな】 育てたお米でおにぎり作り

せたな営農センターは、12月16日、町内の北檜山小学校3年生24名を対象に、出前授業とおにぎり作りを同小学校で実施した。

今回は、本多副部会長とJA新はこだてせたな営農センター生産施設課安藤係長を講師として「農業で働く人たち」と題し、農畜産物やJA、農家のお仕事内容を紹介した。児童らは「野菜などの作物はどう育つのか」「害虫を駆除した後にはまた害虫が出たらどうするか」などといった様々な質問が飛び交った。

授業の後は、児童らが育てて収穫した「ななつぼし」を使って楽しそうにおにぎりを握り、笑顔いっぱい頬張っていた。



林部会長(左)からもち米を受け取った児童

## 【八雲】 八雲町内全小中学校に 風の子もち、牛乳を寄贈

八雲営農センターは町内の小中学校11校の児童生徒に「風の子もち」120kg、牛乳200mlパック1060本を寄贈した。

PRキャラクター「ミル子」と「やくもっちゃん」と共に八雲小学校を訪問。歓声が上がる中でJA新はこだて酪農生産部会八雲支部都築支部長と八雲町もち米生産部会林部会長より児童へ手渡された。

八雲町産のもち米と牛乳の消費拡大PRと当町を代表する農畜産物を知ってほしいという想いから企画された。同校を代表してもち米と牛乳を受け取った児童は「たくさんいただきますありがとうございます」と笑顔で話した。

寄贈された食材は当日の給食メニュー「八雲町産もち米、ホタテを使った炊き込みご飯」として提供された。



棚田さん(左)に賞状を手渡す森会長(右)

## 【北斗】 米パッケージに児童のイラスト採用

北斗市米穀振興会は北斗市農業振興対策協議会が開催した学校給食米パッケージコンクールに協賛した。

北斗市内の学校給食米には地場産の「ふっくりんこ」が使用され、北斗市子ども議会でも出された「ふっくりんこをもっとPRすべき」という意見をもとに今年度初開催された。

同市内小学4～6年生を対象にイラストを募集。計27作品の中から、萩野小学校6年生の棚田希愛さんが最優秀賞を受賞し、パッケージに採用された。

同協議会森隆志会長は「今後も活動を継続して「ふっくりんこ」のPRを積極的に行っていきたい」と話した。

パッケージを使った学校給食米はあぐりへい屋や市内スーパー等で販売される。



神主のお祓いを受ける組合長ら

## 【組合長会】 神前に米ささげ発展と豊作祈願

道南地区農協組合長会は1月20日、函館市の函館八幡宮で「豊稔祈願祭」を行った。当JA管内産「ふっくりんこ」を神前に奉納し、今年の豊作を願った。

同地区3JAの組合長、役員をはじめJAグループ各連の支所長ら24人が参列。祭壇に玉串をささげ、道南農業の発展と五穀豊穰を祈った。

組合長会会長を務めるJA今金町の小田島組合長は「昨年は、平年を大きく上回る降水量により品質や収量の低下が懸念されたが、気温等に恵まれ安定した年となった。生命の根元である食と農を次代に継承する責任を自覚し、なお二層本年も努力して参りたい」と祭詞を読み上げた。



マスコットキーを贈呈した横道組合長(左)と受け取った池田市長(右)

## 【共済】 地域の医療体制充実へ救急車贈呈

JA共済連北海道は12月中旬、南渡島消防事務組合北斗消防署に高規格救急自動車1台を寄贈した。受納式で関係者は、地域の救急搬送業務の強化を誓った。

道内各市町村の消防本部への救急車の寄贈は1975年から毎年実施されている。

JA新はこだての横道組合長は「今後とも救急活動にご尽力いただき、地域の救急業務に役立ててほしい」とあいさつ。

同JA横道組合長が北斗市池田市長に目録を贈呈し、マスコットキーを手渡した。

同市からは共済連とJAに感謝状が贈られた。



## 第71回渡島青年農業者実績発表大会【担い手活動紹介】

12月9日(月)、北斗市農業振興センターで、第71回渡島青年農業者実績発表大会が開催され、関係機関を含め48名が参加しました。

現在、道南には4Hクラブが4組織あり(表1)、それぞれプロジェクト活動や視察研修、食育活動等に取り組んでいます。今回の大会では、クラブ員による①プロジェクト活動発表②アグリメッセージ発表③活動報告が行われました(表2)。

単年・複数年の活動をまとめあげたプロジェクト発表や、日頃の農業経営やクラブ活動等の体験を通じて感じたことを述べるアグリメッセージ発表は、どれもわかりやすく、取り組んでいる内容や青年の考えがよく伝わってきました。審査する側も真剣に聞き入り、質問やアドバイスをを行いました。

各部門で最優秀賞を受賞した2課題は、令和7年1月28～29日に開催される「北海道青年農業者会議」で発表を行い、全道一に挑戦します。

渡島代表としての活躍が期待されます。

表1 各4Hクラブの状況

名称	活動市町	人数
北斗市4Hクラブ	北斗市	14
七飯町4Hクラブ	七飯町	6
南渡島4Hクラブ	木古内町・知内町	11
やくも4Hクラブ	八雲町	休会中



写真1 最優秀賞受賞者 (左から2番目坂本晃一さん、3番目大嶋徹さん)

表2 大会内容 (発表順に掲載。★は各部門の最優秀賞)

参加部門	発表者	演題・内容
プロジェクト発表 園芸・特産作物 部門	渡島4Hクラブ 連絡協議会 出口拓也さん	○farmo を使って変わったこと 温度管理を可視化するための「ハウスファーモ」を導入してから、作業する上で改善された点、失敗したこと、にらの品質・出荷量の変化についてまとめた。
	七飯町4Hクラブ 小坂優斗さん	○リーキ栽培のあゆみ ねぎの技術を活用して栽培を始め、高品質なりきを生産できるようになり、また、レシピの作成で消費者に広く知ってもらうことで、高単価で販売できるようになった数カ年の取り組み経過を総括した。
	北斗市4Hクラブ 坂本晃一さん	★ねぎの害虫対策 「アザミウマの被害を抑え、ねぎの品質向上」を目標に掲げ、①アザミウマの発生消長の把握②ローテーション防除層の作成③ローテーション防除の効果確認に取り組み、ねぎの品質が改善されたこと農薬や病害虫の知識も身に付けることができたことについて発表された。
アグリメッセージ	南渡島4Hクラブ 加藤伸哉さん	○農家でなければできないこと 農業の普及のため、作物生産のほか新規就農者の研修受入れなど、農家でないとできないことに取り組み農業の未来を救えるように頑張りたい。
	南渡島4Hクラブ 大嶋 徹さん	★組織とは 組織は協力し合う場であり、機能するためには役割分担や信頼が必要。組織を支えるのは、私たち一人一人であり共に未来を築いていきたい。

## GAPを「する」と「みどりチェック」 (広域クリーン・有機)

【注意】本稿の内容は、令和6年12月末日現在で公開されている資料等に基づいており、今後修正される可能性があります。

### 1 「みどりチェック」とは

- 農林水産省所管の全ての補助事業等で、最低限行うべき環境負荷低減の取組を受益者が実践し、チェックシート形式で報告することが要件化されます。
- (右図参照)このように、各種補助事業等を横断して、共通の要件としたものを「クロスコンプライアンス」といいます。「クロス」は交差、横断、「コンプライアンス」は規範、規則を守るという意味があります。
- 「環境負荷低減の取組実践」の共通要件化(=「クロスコンプライアンス」)を、国は「みどりチェック」と呼び、すでに令和6年度から試行実施されています。



農林水産省「みどりチェック」に取り組みましょう!より(※1)

(※1)詳しくは・・・<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kanky/seisaku/midori/kurokon.html>

### 2 “「する」GAP”との関係

- (右図参照)「みどりチェック」における環境負荷低減の取組は、「国際水準GAP」の5項目の取組のうち、主に「環境保全」分野に該当するものの、その他の項目との関わりが浅いことから、「みどりチェック」=GAP、とはならないと考えられます。
- 一方で、農林水産省は、「『クロスコンプライアンス』は、GAPの基礎的な取組を、より広範な者に対して促すものとなっております、GAPの推進にも貢献すると認識しています」と述べており(※1)、第三者認証を取得せず取り組む「するGAP」の入口としては適当です。



農林水産省ホームページ(環境負荷低減のクロスコンプライアンス)より(※1)

■詳しくは「えすばわー新函館」2024年2月号(No.258)【あぐりレッスン】「GAPを「とる」、GAPを「する」」(渡島農業改良普及センター)もご覧下さい

### 3 チェックシートの内容

【環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート(農業経営体向け)Ver.1.1】

#### (1) 適正な施肥

- 肥料の適正な保管
- 肥料の使用状況等の記録・保存に努める
- 作物特性やデータに基づく施肥設計を検討
- 有機物の適正な施用による土づくりを検討

#### (2) 適正な防除

- 病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討
- 病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める
- 多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討
- 農薬の適正な使用・保管
- 農薬の使用状況等の記録・保存

#### (3) エネルギーの節減

- 農機、ハウス等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める
- 省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める

#### (4) 悪臭及び害虫の発生防止

- 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める

#### (5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分

- プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理

#### (6) 生物多様性への悪影響の防止

- 病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める(再掲)
- 多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討(再掲)

#### (7) 環境関係法令の遵守等

- みどりの食料システム戦略の理解
- 関係法令の遵守
- 農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める
- 正しい知識に基づく作業安全に努める

■基本形であり、事業に応じて一部変更の可能性がある



### 3 適正育苗がもたらす効果

#### ① 初期生育の向上(令和4年試験成果)

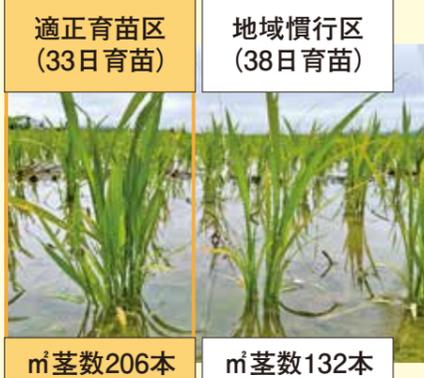
健苗を移植することで活着は良好となり、6月16日時点の㎡茎数は慣行対比156%と、**初期生育が向上**しました。これにより、㎡穂数は慣行対比106%と多く確保できました。

#### ② 穂揃い性の向上(令和5年試験成果)

育苗日数の違いによる穂揃い日数への影響

区分	幼穂形成期	早期異常出穂発生株数	出穂期		穂揃い日数	成熟期
			始	揃		
適正育苗区(32日)	6/27	0%	7/20	7/26	6日間	9/1
地域慣行区(39日)	6/25	40%	7/18	7/29	11日間	9/3

※供試品種は「ななつぼし」



本田移植後の茎数の違い(令和4.6.16)  
※供試品種は「ななつぼし」

健苗の移植により、早期異常出穂の発生を抑制することができました。これにより、**穂揃い性が向上**しました。

### 4 今年のは種計画について、考え直してみませんか？

地域慣行	は種	移植	育苗日数
	4/12~15 (4日)	→ 5/18~24 (7日)	36~39日
今後	4/18~24 (7日)	→ 5/18~24 (7日)	30日

※は種作業を休む日を設ける

#### は種計画設定のポイント

- ①育苗日数は1か月(30日)以内
- ②移植日は変えず、

#### は種作業を遅らせる

移植時期から逆算した、は種時期の設定が有効です。

#### ○ 適正育苗に向けた育苗管理のコツ

育苗日数を短縮する際は、ポット内の根張りを向上させる育苗管理が重要です。短期間で根張りを確保するためには、以下の育苗管理を心がけましょう。

- ①適正施肥の実施
- ②苗床の過湿を避けた、かん水管理
- ③夜間におけるハウス内気温の確保

ハウス内気温が10℃未満になると、**根鉢の形成が抑制される**ため注意が必要です！



※適正育苗区の根量が少ない  
移植時の苗質の比較(令和5年)

## 水稲成苗ポット栽培による、育苗日数適正化のススメ

檜山北部地域では近年、4月～5月の水稲育苗期間中の気温が高いため、苗の生育が進みすぎ、老化苗となる事例が増えています。

そこで、檜山農業改良普及センター檜山北部支所では、令和4年から成苗ポット栽培における育苗日数の適正化について推進しています。



生育が進み、草丈が伸びすぎた移植前の苗(令和6.5.17)

### 1 老化苗による移植がもたらす影響

#### Q1

老化苗を移植するとどうなる？

- A. ①活着が遅れ、初期生育が低下します！  
②早期異常出穂(不時出穂)が発生しやすくなります！  
早期異常出穂(不時出穂)とは、主稈のみが異常に先走って出穂する現象です。穂揃いがばらつくことで整粒歩合が下がり、**品質低下**につながります。



早期異常出穂した穂(令和5.7.13)

#### Q2

早期異常出穂の発生要因は？

- A. ①イネ 2.5葉期以降の、25℃以上の高温管理  
②育苗日数延長による、**移植時苗質の老化**が要因です。

※品種ごとの発生リスクは「ななつぼし」(高)「ゆめぴりか」(中)です。

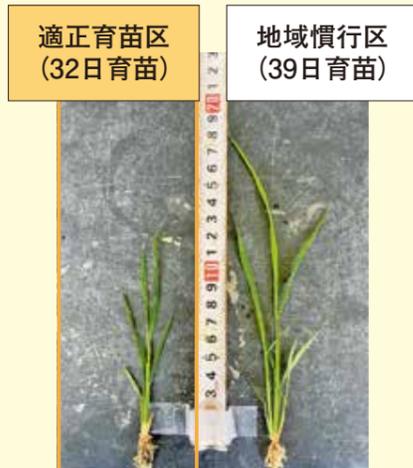
### 2 育苗日数の適正化により、移植時の苗質老化を回避！！

適正な育苗日数を確認するため、令和4～5年に育苗日数を変えて比較試験を実施しました。その結果、育苗日数を30日程度に短縮しても、草丈・葉数ともに移植前の苗質として問題無いことがわかりました。

#### 移植時の苗質調査結果(令和5年試験成果)

区分	草丈(cm)	第一鞘高(cm)	葉数(枚)	分けつ(本)	乾物重(g/100本)
適正育苗区(32日)	13.8	2.4	4.6	1.1	5.8
地域慣行区(39日)	19.9	2.4	5.1	1.0	7.2
移植時の苗質基準	10~13	-	3.6~4.0	-	3.0~4.5

※供試品種は「ななつぼし」



移植時の苗質の比較(令和5年)





JA 各部署の職員と意気込みをご紹介するコーナー。

今回ご紹介するのは…

厚沢部営農センターです！

厚沢部営農センター

営農生産課

第7次地域農業振興計画で掲げた基本目標を实践し、アットホームな職場環境を活かしつつ「組合員との関係」を強化し農業所得の向上に努めます。



名和主幹 櫻田係長 木口職員 谷口副センター長 三浦センター長 佐藤職員 榎本主査 木口調査役 松岡主査 加藤主査 工藤課長

生産施設課

農産物の出荷体制の改善により省力化を図りコスト削減に努めるとともに各関係機関と連携し、タイムリーな情報提供を实践、農産物の収量・品質の向上に努めます。



由利職員 川野職員 北越課長 佐藤係長 伊勢谷職員 小笠原職員 高橋職員 後藤職員 山中主査 油谷職員

生産資材課

農業資材の安定供給を目指し、予約購買推進・コスト低減型資材・省力化資材の提案を行い組合員の目線に立って、相談対応機能の向上に努めます。



船瀬係長 出口課長 天石職員 齊藤主査 木村職員

奥尻事業所



佐々木所長 白戸職員

上ノ国事業所



草間職員 金子所長

Meshistogram

若松地区女性部

485likes

#女性部手作り  
#パブリカやセロリでもOK  
#ヨーグルトで甘味UP  
#保存袋で手軽に  
#柔らかくまろやかな味わい

きゅうり	1本
だいこん	300g
にんじん	60g
味噌	50g
無糖ヨーグルト	100g
はちみつ	大さじ1.5
昆布	5cm
塩	適量

作り方

- 味噌50gと無糖ヨーグルト100g、はちみつ大さじ1.5を混ぜ合わせる。
- だいこんはイチョウ切り、にんじんは短冊切りにする。
- 切っただいこんとにんじんに塩小さじ1/2をまんべんなく振り良く混ぜ10分程度置く。
- きゅうりは塩を揉み込みやすいように表面を少し削り塩をすりこみ③と同様に10分程度置く。
- だいこん、にんじんはキッチンペーパーでよくふきとり、きゅうりは水洗いした後にふきとる。
- 保存袋に昆布と⑤を入れよく混ぜ空気が入らないように袋を閉じる。
- 1~2日ほど置いたら完成。

「手作り味噌はふっくりんこの麴からつくられています！」

「きゅうりは初めから薄切りにすると味が染み込みすぎるので食べる時に薄切りにするのがおすすめです！」



味噌

味噌とヨーグルトの漬物

若松産こだわりの手作り味噌と自家製フレッシュヨーグルトを使った

【栄養素】 葉酸  
【効果】 神経や筋肉の働きをサポートし、疲労回復やストレス緩和に効果的です。

このコーナーは各地区女性部員の方に、その地区にゆかりのある農畜産物や加工品を用いた料理をご紹介していただくコーナーです。

今回料理を紹介していただくのは…

若松地区女性部



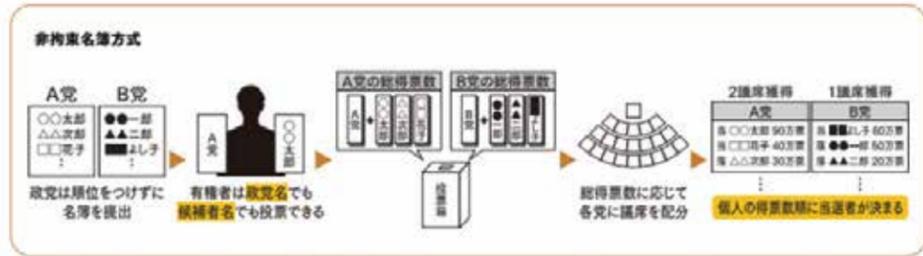
上段左から、藤谷容子さん、林照子さん、原田紀子さん、吉田玲子さん  
下段左から、細川和子さん、近藤久子さん、坂上和子さん

# JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

## 第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位とする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要



です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式LINEアカウントへの登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会

## 企画管理・信用共済委員会視察研修

◆日程：令和6年11月25日(月)～27日(水)  
◆事務局：山中総務部長、中田信用共済部長

◆参加者：横道組合長、南常務、佐藤常務、伊勢谷委員長、佐橋副委員長、小笠原委員、平川委員、東出委員、椛澤委員、佐々木委員、土本委員、大原委員

### JAふくおか八女(福岡県)

#### 女性役員選任に係る取り組みについて

令和2年に理事定数の見直しを行い理事32名体制となり、女性理事については、女性区選出により3名、地区選出により1名の合計4名の女性理事となっています。女性役員選出にあたって、女性部役員推薦特別委員会を設置し管内8地区から1名ずつと部員数に応じた部員数割(部員100名あたり1名)で特別委員会の人数を決定しています。(合計17名)

女性役員推薦にあたって地域割り当ての方法や正組合員加入の推進方法などの意見交換を行いました。

#### DX化・IT化(DX推進課)について

業務効率の向上、組合員・利用者のサービス向上を図ることを目的に令和5年4月にDX推進課を設置。DX推進課の役割は業務の自動化の推進やシステム更新、導入のサポート、サーバーや保守契約等の一元管理などが行われています。

DX推進課設置時は、職員に対し「DXとは何なのか」を周知し、職員に対し業務自動化に向けたアンケート及びヒアリングを実施し、アンケートに基づきDX化を推進していました。組織全体の理解促進・意識の醸成と現場の意見を重要視することがDX化の推進に重要となります。



## 営農販売・経済委員会視察研修

◆日程：令和6年11月6日(水)～8日(金)  
◆事務局：菊谷農業振興部長、門口生産資材課長、山田経済事業部長(新はこだて協同)

◆参加者：加藤専務、新谷常務、高瀬委員長、影浦副委員長、丹保委員、倉田委員、大嶋委員、森委員、高橋委員、小坂委員、平野委員、岡崎委員

### 北興化学工業(株)岡山工場

製造工程での労働力確保の為に以前退職した社員に復帰してもらうカムバック制度を取り入れ、工場内の製造機械のオートメーション化を図っております。機械が自ら判断し稼働できる先進機械の導入などの製造ラインを構築することで、一施設2～3人体制の交代勤務で24時間稼働を可能にし、製品の生産量や稼働率、品質を維持しています。

岡山工場は農薬製品の製造とファインケミカル製品の製造を主に行っているが、北海道の滝川市に農薬製造拠点を移設し、ファインケミカル製品を重点に製造することで効率化とコスト低減を図るための取り組みを行ってまいりました。



### JA晴れの国岡山 JA-CATつやま店

JA-CATとは、JAと全農の共同運営方式による資材店舗であり、地域一番の品揃えと営農相談機能の充実による地域に密着した営農資材の専門店です。

大型店舗として土、日曜も営業を実施し、集約した店舗から人員を配置し営農相談員を設置して出向く体制を整え、在庫管理と配送業務は全農が行うことでJAの負担を軽減しています。JAは営農指導や購買推進等のコア業務への要員シフトを図り、より利便性の高いサービスに取り組み、購買機能集約により約5千万の経済事業収支改善が可能となったとのことでした。

店舗集約における組合員への説明に関しては、現状と今後の改善策を説明するだけでなく、JAの機構改革による収支改善も同時に示して理解を得るなど、組合員だけに負担を強いることのないよう取り組んでまいりました。



免税軽油利用組合員各位

# 免税軽油制度についてお知らせです!!



## 必ずご一読願います。



日頃当社給油所および免税軽油をご利用いただきありがとうございます。今年度の免税軽油使用報告及び次年度交付申請に向けて、下記のとおり今一度ご確認のほどよろしくお願いいたします。

### 《免税軽油制度》について『基本原則』

「人(組合員)」「用途(農業)」「機械(トラクター等)」の3要件があり、これらすべてが法律の条件に当てはまった時に限り課税控除(免税)が認められます。

免税軽油は、免税軽油使用者証に記載されている「人」「用途」「機械」以外には使用することはできません!誤って使用した場合でも、法律違反として罰せられる可能性があります。

#### 《免税軽油3要件の定義》

「人」:一般的には「営農者」であり、**農業委員会(市町村)が発行する営農証明書等で各振興局が確認**を行います。

「用途」:農業に関する作業にのみ使用する機械の動力源であれば該当します。免税軽油が使用できる農業は、「**種植え前の耕起から収穫後の整地まで**」と定められています。

「機械」:一般的に農業に使用するとされている機械、建設機械を使用する場合は、具体的にどのような作物に、どのように使用するのかを明示する必要があります。機械の所有者の確認は、ナンバー付きの場合は市長村が発行する標識証明書、標識交付がされていない場合は、メーカーの販売証明、貸与の場合は貸与契約書等が必要となります。

#### 3要件に共通して

**「免税軽油使用者が自分の農地において自分の機械で自分に帰属する農業収入を得るため農作業をする」ということが大前提となります。農作業を他組合員等に手伝ってもらった場合等は、課税軽油にて作業を行う必要があります。免税軽油での作業を依頼する場合は、ご自身の免税軽油タンクから給油し、現物支給を行ってください。**

### 《免税軽油使用時のQ&A(よくあるご質問)》

**Q1** 免税用途とならない作業はどのようなものがあるか?

**A1** 道路の走行(収穫した作物を運搬する等であったとしても、いかなる場合も道路の走行は課税対象です。)その為、農業に使用される機械であっても、ご自宅から畑までの移動等道路の走行を行うことから道路走行分見合いとして、免税軽油交付数量の10%の課税軽油の引取が必要です。

**Q3** 畑の除雪は免税軽油でよいのか?

**A3** 農作業ではないことから、認められません。基本的に免税軽油を使用できる期間は、「**種植え前の耕起から収穫後の整地まで**」となります。

**Q2** ビニールハウス内の暖房は免税軽油でよいのか?

**A2** 機械の動力源ではないことから、認められません。

**Q4** 土中に貯蔵した(一度収穫して埋め戻した)生産物を冬季間に掘り起こす作業は免税軽油の使用が認められるか?

**A4** 収穫後の作業となることから、免税軽油の使用を認めることはできません。

その他にも

《ナンバー付トラックへの給油》 《自宅の除雪》

**登録していない機械・車両等へ免税軽油を使用することはできません!!**

**以下に該当する場合は直ちに当社給油所にご連絡ください!!**  
**連絡を怠った場合は数年間免税軽油を使用できなくなる可能性があります!!**

**免税軽油使用者の変更→免税軽油使用者証の交付を受けた者が変わった**



**機械の変更→あらかじめ登録した機械を入替えた(追加した等を含む)**



**いずれも手続きを怠ると、変更時から手続き完了までの使用分はすべて課税対象として納付する必要があります!!**

寒くなり、免税軽油使用期間の終了を迎えた組合員も多くいらっしゃると思います。期日を過ぎた免税軽油の使用は認められません。タンク内の免税軽油についても、次の春まで在庫として残しておく必要があります。

また、機械などの消費実績を報告する義務があります。別途各SSより通知する報告期日までに「作業日報」の提出をお願いいたします。

## 令和6年度(2024年度)渡島型輪作プロジェクトセミナーのご案内

「“気候変動”その影響と今できること」をテーマに、近年の気候変動の特徴や管内土壌の特性についての講演のほか、水田・畑輪作に必須である透・排水性改善の技術手法、当地区の実証結果、他県の取組事例報告など、次のとおりセミナーを開催しますので、お気軽にご参加ください。

※直接、会場にお越しください  
(当日受付可能)

■日 時 令和7年2月20日(木) 13時30分~16時50分

■場 所 北斗市農業振興センター 総合研修室(北斗市東前74-2)

### ■内 容

- 講演 「北海道地方における近年の気候の変化」  
札幌管区気象台 地球温暖化情報官 河原 恭一 氏
- 講演 「渡島管内の土壌の特徴と自力で行う土層改良」  
道南農業試験場研究部生産技術グループ 主任主査 乙部 裕一 氏
- 活動報告
  - 額縁明きょ施工および集中管理孔清掃について  
渡島農業改良普及センター 普及指導員 鳥羽 幹也
  - 安定生産技術の確立に向けて~渡島の子実用とうもろこし~  
渡島農業改良普及センター 専門主任 古館 弘子
  - 視察報告「東北優良事例から、今渡島でできることを考える」  
渡島農業改良普及センター 地域第二係長 弓削田 智美

**参加無料**

主催:渡島総合振興局地域農業・農村振興推進室(農務課、農村振興課、農業改良普及センター)  
【問い合わせ先】 渡島総合振興局農務課 TEL:0138-47-9497

食べよう! 話そう! 体験しよう!

毎週水曜日 12:30~12:55

みんなで起こそう、3つのリアクション!

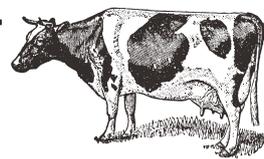
**AGRIACTION! RADIO**

アグリアクション レディオ

ラジオパーソナリティ 浅井未歩

JA HOKKAIDO GROUP HOKKAIDO 80.4 FM HOKKAIDO





牛乳をもっと食卓に

## おいしい ミルクレシピ

身体に優しい♪簡単なのに激うま♪  
和風ミルフィーユ牛乳鍋

出典●Jミルクウェブサイト「ミルクレシピ」

### 材料(1人分)

- 豚バラ薄切り肉 ..... 10枚
- 白菜 ..... 5枚
- A
- 牛乳 ..... 300ml
- 白だし ..... 大さじ1～お好みで
- 醤油 ..... 小さじ1～お好みで
- 削り節 ..... 適宜
- 青ねぎ(小口切り) ..... 適宜
- いりごま(白) ..... 適宜

### 作り方

- ① 白菜の上に、豚バラ薄切り肉2枚の端が少し重なるように並べ、順に重ねて6等分に切る。
- ② ①を断面が上になるように鍋のふちに添って敷き詰める。※余った白菜は隙間に詰める。
- ③ ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、鍋に入れる。お好みで削り節、青ねぎ(小口切り)、いりごま(白)を散らし、中火にかける。沸騰したら弱火にし、蓋をして全体的に火が通るまで5分ほど煮込む。



マルメロード第139章

### まるめ郎アルバム



今回の表紙の撮影は八雲だったのでまるめ郎もついていきました!かわいい牛さんがたくさんいました📷写真は♡の模様の牛さんがいたので記念に撮影しました。ハートは全部でいくつあるでしょう...?♡

Day:2025.1.17

### 編集後記

母ちゃんの飯스타그램にて漬物を紹介しましたがきゅうりが特に美味しかったです🍷取材後には手作り味噌と飲むヨーグルトをお土産にいただいたので家に帰ってから美味しくいただきました(´~`)♡ (菜)

### 今月号の表紙について

品目

牛

元すけわーる 2025年 2月号 No.270



撮影場所

八雲地区にて撮影

## 緊急時のご連絡先

※業務時間内(平日9時~17時)にはご契約の支店にご連絡ください。



お車の事故・トラブル  
☎0120-258-931  
(JA共済事故受付センター)



キャッシュカードや通帳の紛失・盗難  
☎0120-944-904  
(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス  
☎0120-063-931  
(JA共済サポートセンター)

JAクレジットカードの紛失・盗難  
☎0120-159-674  
(三菱UFJニコス(株)盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。